

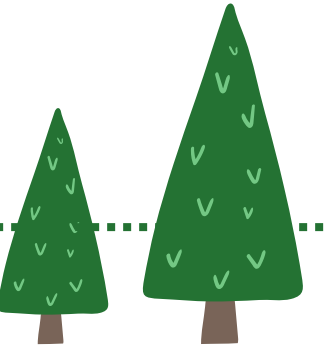
令和6年度 地域おこし協力隊 活動報告会

発表者 古家のぞみ

令和7年
2月16日（日）



目次



01

平戸に移住するまで

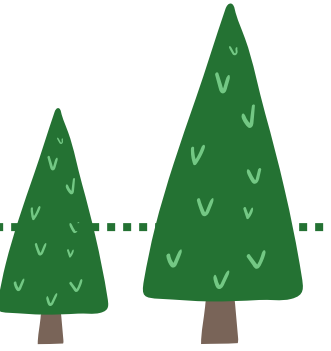
02

2年目の活動報告

03

今後について

目次



01

平戸に移住するまで

02

2年目の活動報告

03

今後について

01

自己紹介

ふるや

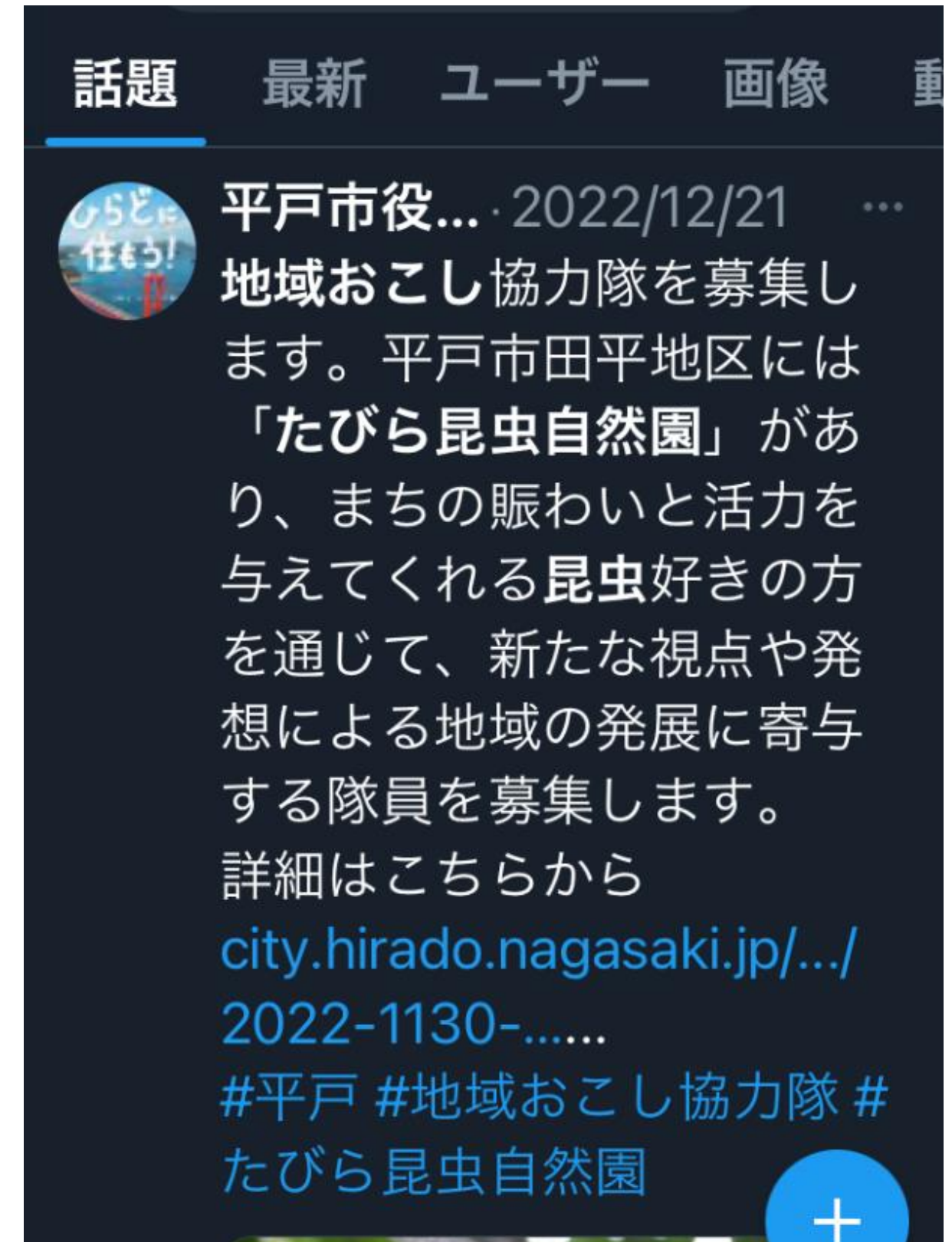
古家のぞみ

(2年目／令和5年4月1日から着任)

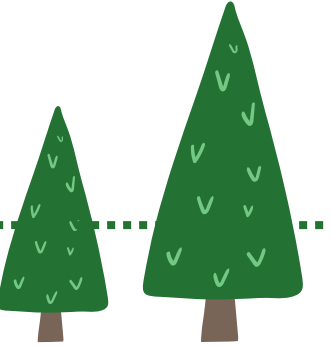
生年月日 : 平成14年8月28日生まれ
年齢 : 22歳
出身 : 千葉県市川市
出身校 : 環境系専門学校 (昆虫調査班)
趣味 : 編み物



- ① 昆虫に関する仕事をしたかった
- ② SNSで募集を発見
全国でも珍しい解説指導員による
ガイドに惹かれる
- ③ 実際に足を運んでみて応募した



目次



01

平戸に移住するまで

02

2年目の活動報告

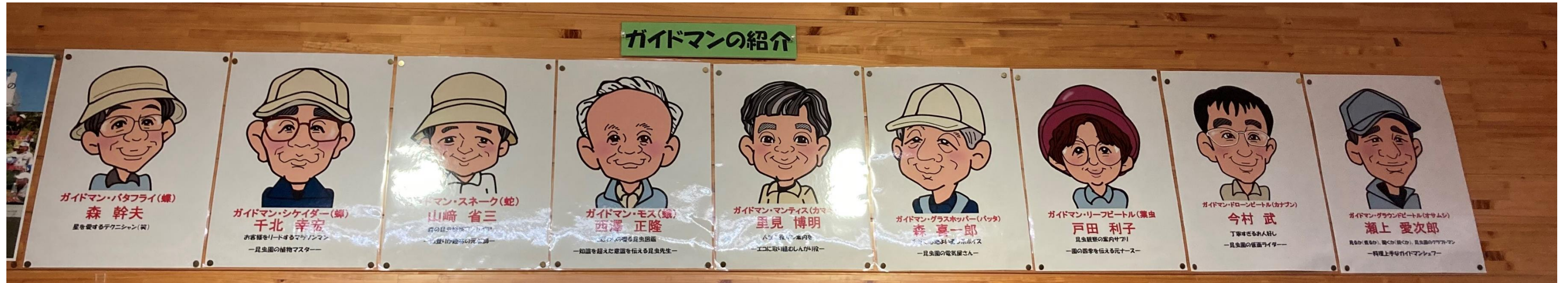
03

今後について

- ① 指導員の会の活性化を図る
- ② SNS発信数を増やす
- ③ まち協の活動に積極的に参加する



解説指導員の会とは



解説指導員の会は平成4年7月に開園した「たびら昆虫自然園」の園内の解説案内を行う団体で、現在22名が所属

☑回数：1日5回

☑人数：1～15人

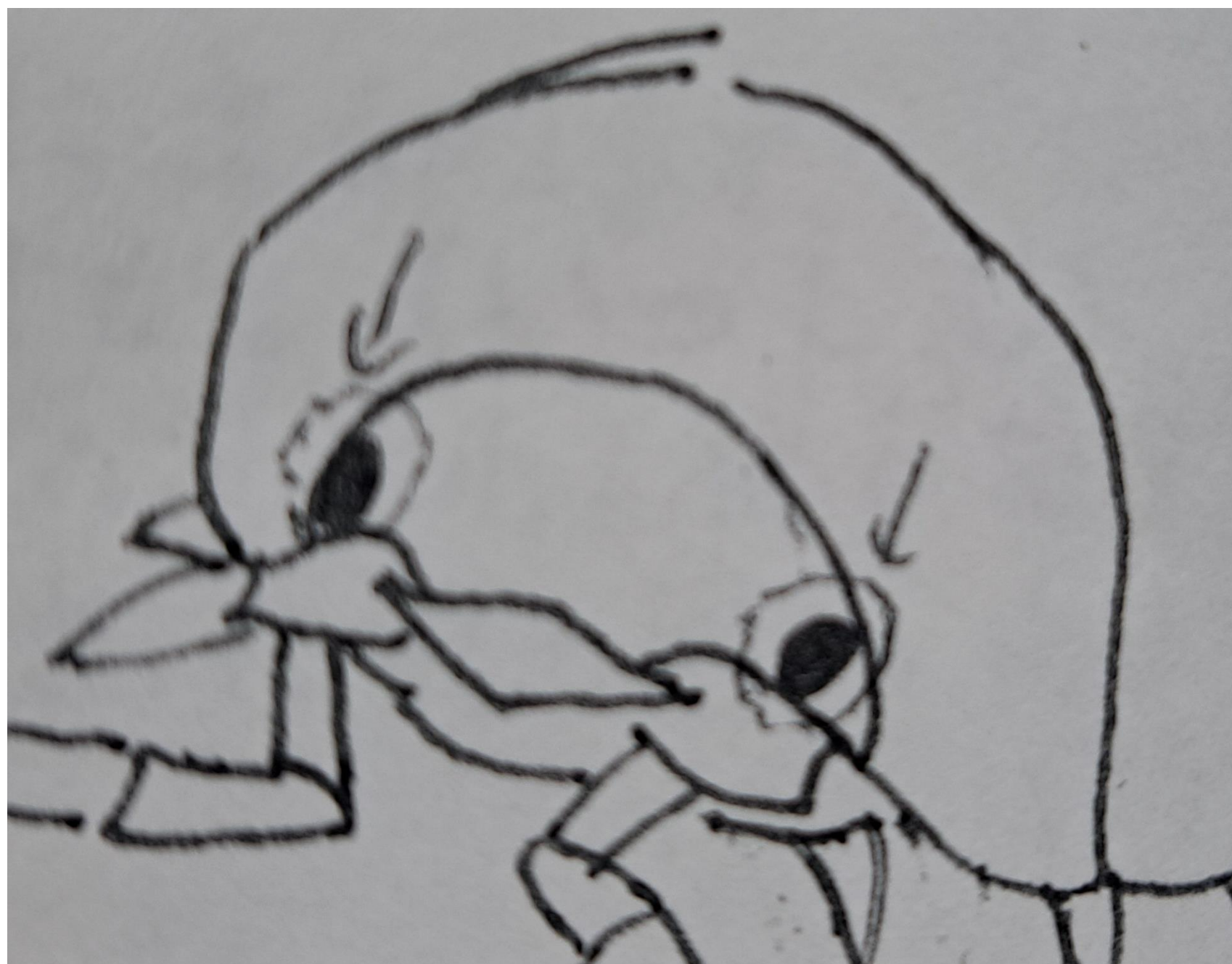
☑時間：45分～1時間

☑R6.4～R7.1月末：288回/1620名 案内
(月平均：26回/147名)
(8月：60回/427名)

- ☑ 9月～11月：学校団体
- ☑ 4月～12月：21団体/597名 案内
⇒ 8団体/121名は単独



☑絵を使用した解説



ガイド中に心掛けていること

①

年齢や状態によって
ガイドのコースや
話す内容を毎回変えている

②

解説の
タイミングを
意識

③

発言したことを
褒めてから
解説をしている

家族や友人、先生などに体験したことを共有してもらいたい
昆虫や自然に興味や関心をさらにもってもらいたい

ガイド中に心掛けていること②

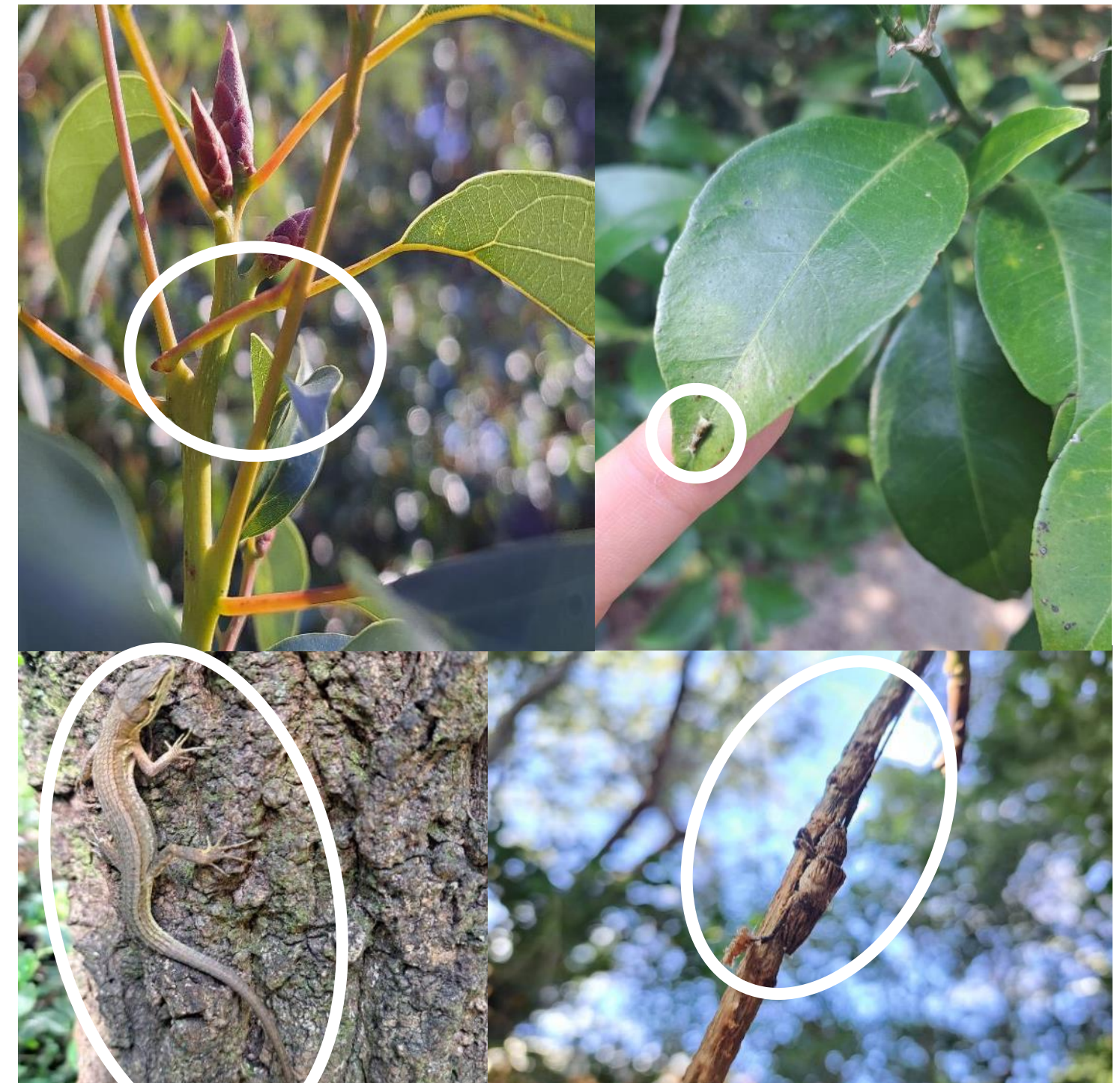
たびら昆虫自然園

園内には様々な昆虫や動物が隠れている

発見するのは非常に困難な虫や生き物が生息している

それを解説指導員と共に発見し、生態を共有し、関心を持ってもらう

解説指導員と一緒に学んでいる



Google たびら昆虫自然園のレビュー

★★★★★ 2 か月前

すごくよかったです！お姉さんの昆虫の知識がすごくて驚きや楽しさを感じながら昆虫を深く知ることができました。また来たいと思える楽しさでした！ありがとうございます！

★★★★★ 4 か月前

素晴らしい場所です。言葉の壁があるにもかかわらず、ガイドは私の子供たちが楽しい時間を過ごせるように尽力してくれました。本当に素晴らしい人たちです ... [もっと見る](#)

Google による翻訳 · [原文を見る](#) (英語)



解説指導員の会会員へ
園での出来事等を伝える
会報「虫ぶえ」を担当

- ・ 月に 1 回発行
これまでに22回発行
- ・ 引き続きA 3 両面 1 枚で掲載
- ・ 今の時期に園内で見られる
生物の情報を掲載
- ・ R 6 年 6 月～
解説指導員の会LINEグループ
での「虫ぶえ」の配信を開始



クワエダシャク

6日（水）上池のクワで確認しました。

幼虫は木の枝に擬態することで、鳥などの外敵から身を守ります。

枝の先端のように見えるのは頭で、枝につかまっているのは末端の足です。口から糸を出して体を支えているため、糸を手掛かりに探すこともできます。

<引き続き見られる生き物>



コセンダングサ(種)



ソバ（花）



チャミノガ



アシナガバチ科の巣



ヨメナ（花）



セモンジンガサハムシ



ハラビロカマキリ



ブットレア（花）



ミズカマキリ

その月に見られた 生き物を掲載



今後の指導員の会 の資料として残す

昆虫標本のカビ取り作業／防虫剤交換等：10月・11月



防虫剤交換342箱、カビ取り作業52箱、
標本室のカビの除去作業70箱



カビ 一例



本日
カビ取りの
道具を
展示して
います！

園内整備

草刈り、草取り、枝の除去、
水路の清掃、道路の清掃など



その他

- ・ 予算の見込み
作成の補助
- ・ 解説指導員の会
グループラインに
連絡事項の伝達など



「カイコのフンで染物体験」企画・実施：5月



1つの昆虫の内容に特化したイベント

↓
県外の方の参加が多かった（マニア層）

「子どもがカイコに強い興味があって、深く知れるような講座を探していた」など

↓
イベント内容とともに客層も変化

夜の観察会：7～8月



一般公募 4 回
団体対応 2 回

解説案内補助
安全確認担当

冬のフェスタ : 11月 「落ち葉の仮面づくり」



「看板や案内の作成・設置」



04

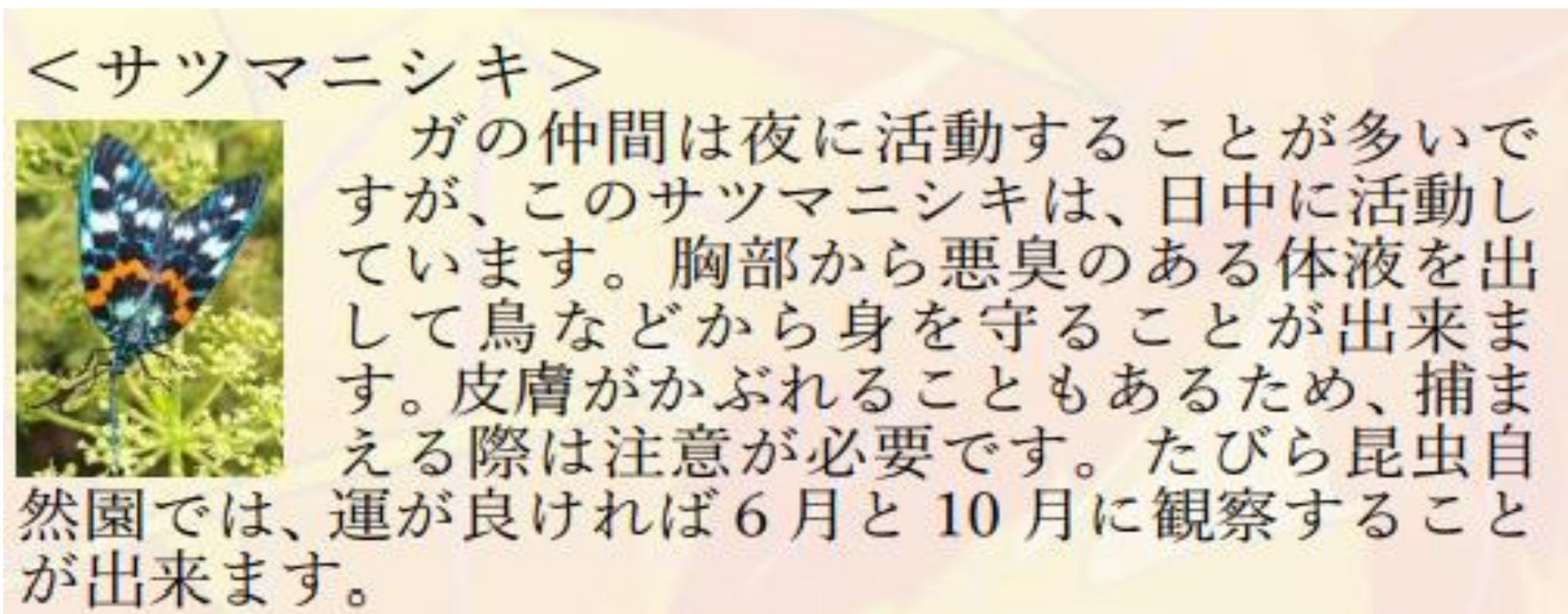
活動実績報告⑨ 情報発信（SNS）

INSTAGRAM（FACEBOOKと連動）で発信



インスタQRコード
フォローをお願いします

平戸市HP／田平支所揭示



地域おこし協力隊活動報告書 4月分

隊員紹介

古家のぞみ

年齢：21歳
出身：千葉県市川市

平井町の地域おこし協力隊として2020年4月7日着任。現在2年目。
 主な担当のものは生き物について。また、ごみは自然の資源の活用目的のものの補給を中心に活動しています。普段はたびたび昆虫自然園に所属しながらお客様への解説案内を行っています。

園の解説案内

たびたび昆虫自然園では、園内解説員目録（PDF）が1周40分程度の解説案内をしています。季節と時期によって毎週違う生き物を見ることが出来るのが魅力です。私も昨年4月から月間を行って行っています。

春になり、園の生き物も活発に動き始めました。

4月の解説案内には、鳥や、花に惹きつける昆虫、水生生物を中心に紹介しています。具体的には、3月頃から4月にかけては、「アゲハチョウ」や「イチモンジセテ」などよく見られるアゲハチョウのオスのオス約1匹に約40分程度集まりました。

4月下旬からは、アブラハラの仲間やアゲハチョウが花に飛来し、キアゲハの仲間ものも見ることも出来ます。

水生生物はゲンゴロウの仲間や、ミズカマキリ、カスシランシロウウスの幼虫も観察されました。

まち協等での活動

子育て世代から出席し、今年度事業の案内について会議を行いました。
 また、まちづくり委員、実行委員会では市民協会の協力、まち協が行っている事業内容や、今後どのような形での市民の意見を集計・反映させるかについて会議を行いました。

園内で新しく見られた生き物

・モンシロダグバ

翅（は）には明るい黄（も）が黄色いといふから名前にダグバとつけられたとします。ただし、羽はほとんど黒い。翅の裏はほとんど黒い。時間が経つにつれて黄色に色化します。

・モミジの花と蕾

3月4～4月には見られる花、枝から線香花火のように下がり下がります。
 今更なるお花見の楽しみとを絶賛して、園内から落ちる特徴があります。

今後のイベント

フン染め体験

5月3日（金）にはたばこ自然園で、カイロのフンを使用して紙幣を作り体験を行います。
 期間のよろしう参加にお願いいたします。

参加料：500円
 材料費無料、別途入園料がかかります。

時間：10:30～11:30 13:30～14:30
 午前午後合わせて10名様限定、予約不要です。

地域おこし協力活動報告書
令和6年7月分



吉家のぞみ

年齢：21歳
出身：千葉県市川市
趣味：編み物

就任：令和5年4月（2年度）
活動内容：「環境運動の会」と田原町の活性化
委員会、市民協会の関係機関の会の役員として、地域の発展に貢献している。また、ボランティア活動や、地域のイベントなどにも企画・実施
している。



イベントの報告

23日(土)に親子ずり・夏休みもつり大会で実施された「こどもをとおして」環境おこしの「森の物語展」は、甲子園球場にて、地元新聞社の取材を受け、テレビ朝日のニュース番組でも放送されました。子ども達と一緒に動物作りなどに付きながらオオカミの一生について知識を得る、森の物語行いしました。



まち協等での活動

4日(木)、市子供会館に出陣し、各事業の現状説明及び子育て支援について説明を行いました。これにより、まち協等と連携が図られていくものと見えています。

園内で見た！身近な生き物

「アブラゼミ」と「フナエビ」
幼虫(うば)を捕まえたアブラゼミです。3〜4年生の中で生きているのは、夜になると鳴いて成長になります。写真のアブラゼミは透明な体色(うば)ですが、2〜3週間程度で茶色に変化します。



今後のイベント

8月18日(土)に甲子園中央公園主催の公民館講座では、講師として「親子で楽しむアブラゼミ」について講話を行います。興味がなければQRコードから申し込み可能です。(後)

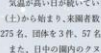
たがひ昆虫白痴団では、7月31日連続と8月3日、10日の毎土曜日に市庁舎市民館主催の「夜の観覧会」を開催しています。ぜひ平日の空を見たい方への、参加希望の方はたがひ昆虫白痴団へお電話ください。
詳細はたがひ昆虫白痴団ホームページをご覧ください。(后)



園の解説案内等

気温が高い日は暑いですが、生き物は活発に活動しています。夏休み中(20日)と25日あるため、来園者も増加しています。7月1日〜31日の一般入園は51回、27名です。園内見学は、37名でした。

また、市民協会のワークブックを活用して、アブラゼミの仲間が確認できました。子ども達は、ワタサキを観察する事が出来ました。



また、子ども達は、ワタサキを観察することが出来ました。



25日(水)、市公民館が開講した「うばのジマーマン・スクール」に講師として参加しました。18名が来場し、子ども達はワタサキを見て取り交わし、持参した図鑑に見比べて大満足に過ごしていました。案内係を務めたたがひ昆虫白痴団では、新しきものを使用してプログラムを作成しました。

夜の観覧会

SNSでの情報発信
イベント開催日程中の動物館について情報をしています。(后)




地域おこし協力隊活動報告書 令和 6 年 6 月分

隊員紹介

古家のぞみ

年齢：21 歳
性別：女性
出身地：千葉県
趣味：読書、映画

今月の活動内容
① 地域おこし協力隊の活動について
② 地域おこし協力隊の活動について

平戸の観光と協力活動について、2023 年 4 月に作成。現在、2 月分です。子ども達の生き物好きを活かして、たけのこ畑の自然観察や海産物の食べ歩きを中心に活動しています。普段はたけのこ畑の自然観察と食べ歩きへの解説活動を行っています。

園の解説案内等

1 月分は道の駅 1 月分です。園内の動物館に活動に参加しています。今月は園内の電線沿いを中心に活動しています。

また、タヌキにはノゾギアザミをタヌキの糞をカサガンの卵殻が認識されます。子どもが糞に楽しんでいる様子はタヌキの観察者です。

動物館の会の問題の思い出し作業を行いました。今後、会員の質問や相談を実施する予定です。

6 月 12 日、21 日に解説活動の会での園内、花壇、池周、通道の草刈りを行いました。

イベントの報告

たけのこ畑の自然観察で「たけのこエコリズム」では、6 月の活動は 9 家園 3 名が参加し、水車にいたる水生昆虫を観察しました。

当日は参加者の意見や見方を変えて、一般向けのお客様 1 名も参加しました。お客様は HP で見つけた内容が気に入るので、1 ページ 1 時間には HP での広めに力を入れます必要ありませんでした。

同じく参加した「タヌキ観察会」では、青田公園にある 1 年分の標本の解

説を行いました。8 日にはワークショップを開催し、サドドッパ中道アツシ等が販売する 4 種類の魚を出品しました。

また協会で活動

6 月 6 日、子育て支援部会に出席し、各事業の選択状況及び予定についてのお問い合わせや計 1 時間 プランニングアツシ委員の報告を行いました。

6 月 19 日、昌平小学校で活動し、子育て支援部会主催の親子学習会に参加しました。役員事務、職作業、ボランティアの活動、行われて参加した方へのフォローアップに活動を行いました。

また、ももやんが、モックの段の段の親近性を上回る。モックのワークのワークを模倣しました。ゴンゾロ 3 月分は 30 日分の解説活動を行いました。（項目別の写真あり）

園内で新しく見られた生き物

<ニホヒゲアザミ>

3 ヶ月 6 月の 6 月の 6 月分では、成長は 1 月分月から 8 月分月分に観察することが出来ます。元の写真とスミと一緒にスミの 6 月分です。

今月のイベント

たけのこ畑の自然観察は、7 月 20 日、27 日、8 月 3 日、10 日の通連 5 日に活動予定です。お申し込みは 6 月 15 日までにお願いします。

お申し込みは 6 月 15 日までにお願いします。

詳細は 6 月 15 日までにお願いします。

詳細は 6 月 15 日までにお願いします。

[illegible]

地域おこし協力隊活動報告書

令和6年5月分

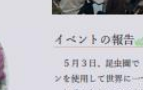


隊員紹介

古家のぞみ

今年1月就任
出身：千葉県市川市
趣味：読書





5月11日、解説委員会の会の開催では、

- ・今年度事業について
- ・今後の指導員向けのイベントについて
- ・会場の一部デジタル化について

等協議しました。

イベントの報告

5月13日、読史館で「ついでに動物体験」を実施しました。カウオのフンを使用して餌づくりに参加する子供や家族連れがいました。

・当年度1学期の2学期授業、国・算・科・社会・道・徳にたいして体験を行いました。

また、毎年来る朝陽館にカウオの産卵ビデオ展示を企画しました。

今学期開始したカウオイズは、すでにカウオのコーナーについて解説したうえで行ったため、気運に参加できる内容になりました。

見学会では、知能不足により参加人数が少なかった事、GW期間中に行動制限がナリ傾向の企業が増えた事などの改善をえられました。

平野町の地域おこし協力隊として2023年4月に就任。現在2年目。

カウオの産卵の生態を生物観察をしながら、たたら産卵自然館の解説委員の会の協力を得ながら活動しております。青森はたたら産卵自然館に所属されたお客様への解説案内を主にしています。

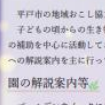
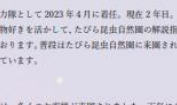
園の解説案内等

ゴールドウィークには、多くのお客様が来園されました。天気に恵まれ、5月13日～16日の4日間の来園客数は345名でした。

この期間にはオオカブツやカブツやめを捕まえるカガエムが見られ、子ども達は足元をしっかりと観察できました。また、月々に増加が続いてきた大きなカウオの産卵も観察することが出来ました。

今年中にはアダチナウオの産卵の様子も観察でき見られました。特に多いのはカウオで、(タカノハヤシの産卵)も見る機会がでてきます。

団体観覧では、児童がカウオの「愛」の言葉が聞けたり、毛のぬいぐるみ(動物)を手に取り、触り心地を確かめて貰いました。



まち協等での活動

5月16日、まちづくり委員会フラッシュアップ実行委員会出席し、住居付アパートの具体的な内容や今後の活動について協議を行いました。

5月23日、まち協会議では、再年度事業について各委員会からの報告と、今年度事業について協議を行いました。

[illegible][illegible][illegible]

広報活動協力等

広報ひらど

地域おこし協力隊活動報告 vol.2

-昆虫の魅力を伝え田平地区を盛り上げます-

古家のぞみ隊員

企画課移住・定住政策班 ☎22-9105

平戸市ホームページに活動
報告を掲載しています▶



たびら昆虫自然園ガイド

たびら昆虫自然園では、園内を解説員が常時案内しており、私も解説員として来場した皆さんを案内しています。春になり生き物も活発に動き始め、4月は鳥や花に集まる昆虫、水生昆虫を中心にご紹介しました。昆虫や植物の特徴を伝えるのはもちろん、実際に見たり触れたり聞いたり臭いをかいでもらったり、虫に興味がある人もない人も楽しめる内容になるよう心掛けています。施設や昆虫の魅力をたくさんの人に伝えながら活動していきます。ぜひ、たびら昆虫自然園にお越しください。

アゲハチョウの幼虫▶



公民館事業・まち協の活動

今年度は公民館事業に参加し夏休みにイベントを企画しています。田平まちづくり協議会では子ども育成部会、まちづくり計画ブラッシュアップ実行委員会にも加入し、子どもたちに昆虫の魅力を知ってもらえるような活動をしていきます。

オオカマキリの孵化の様子▶



広報平戸5月号

地域おこし協力隊活動報告 vol.1

新しい隊員が加わりました!

「紙漉の里ふれあい施設の魅力を皆さんへ」

園田 美貴 隊員

- 隊員歴 1年目
- 出身 平戸市
- 活動地 紙漉の里ふれあい施設
- テーマ 紙漉の里ふれあい施設管理運営支援
- メッセージ 約40年ぶりにUターンしてきました。多くの皆さんに施設の魅力を知っていただき、気軽に立ち寄れる場所にしていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。



▲(左から)古家のぞみ隊員、園田美貴隊員、齊藤三花隊員

○地域おこし協力隊とは? 地方自治体が都市地域からの移住者を「地域おこし協力隊員」として任命し、地域の問題解決や活性化のため、農業・漁業、地域の魅力発信、お祭やイベントなどの地域協力活動を行いながら、定住・定着を促す総務省の取り組みです。

平戸市ホームページに活動報告を随時掲載します。ぜひご覧ください。▶



企画課移住・定住政策班 ☎22-9105

広報平戸8月号

地域おこし協力隊活動報告 vol.7

地域おこし協力隊向け研修会

「キャリア設計」をテーマに学びました

9月4日～6日の期間、長崎県主催の研修会に参加し、短い任期の中で、自分らしさを追求しつつ、地域貢献していく働き方を学びました。

齊藤 三花 隊員(写真右)

他市の協力隊との交流を通して、地域との関わり方や将来への考えなどを意見交換しました。また、人に伝える話し方を学び、残り半年の活動に繋げていけるよう努めています。

古家 のぞみ 隊員(写真左)

組織や企画の方向性における道徳と経済のバランスの大切さを学びました。今後はそういった視点を意識しながら、目的を達成しつつ収益を上げられるような企画を実施したいと思います。

園田 美貴 隊員(写真中央)

視察先のコミュニティカフェ「ソトノマ」では、地元の人、観光客、移住者が集まり繋がるアットホームな空間に感銘を受けました。協力隊として、平戸のことをもっと知り、地域の人に寄り添える場所づくりを目指したいと思っています。

平戸市ホームページに活動報告を随時掲載します。ぜひご覧ください。▶



企画課移住・定住政策班 ☎22-9105



活動報告 vol.5

たびら昆虫自然園ガイド

古家のぞみ 隊員

生き物が活発に活動する時期がやってきました。子どもたちは夏休みに入り、来園者数も増えています。7月は、個人275人、団体3組(57人)を案内しました。夏の昆虫といえば、クワガタ・カブトムシ! 園内のクヌギの木にとまっているクワガタ・カブトムシを見つけた子どもたちの笑顔はとても素敵で暑さも吹き飛びます。また、中部公民館主催の「のびのびサマー jr.スクール」では講師として、夏の昆虫を中心に説明しながら園内を案内。実際にカブトムシに触れてもらいました。散策後は、折り紙でカブトムシを

協力隊同士の連携

先輩の齊藤隊員に声をかけてもらい、根獅子・飯良まちづくり運営協議会主催の夏休み企画「染め物体験」で、カイコのフン染め体験講座を実施しました。子どもたちはフンで染め物することやおいに驚きながら、カイコの一生についての講話やフン染めを楽しんでくれました。

虫が苦手な子どもたちが少しでも好きになってもらえるよう、今後も工夫して活動していきたいです。

今後のイベント

11月に公民館講座において「落ち葉でしおり作り」を企画しています。ぜひご参加ください。



広報平戸10月号(写真協力)

子ども育成部会会員

- ・ 2か月に一回程度の部会に参加

たびら昆虫自然園で、
子ども達と接する機会が多いため、
その経験から得たことを踏まえて
意見、提案



子ども育成部会主催「軽スポーツ講習会」のお手伝い
「親子DEわくわくワークショップ」講師 など

軽スポーツ講習会

- ・ 設営、撤収、フロアカーリングの補助
- ・ 昆虫モチーフのポンポンを作成(6種類)



親子DEわくわくワークショップ

得意の編み物技術を生かし、
講師として子供たちにポンポンを
使用したリース作りを実施





8月
染物体験講師
(根師子・飯良
まちづくり運営協議会)



まちづくり計画ブラッシュアップ実行委員会



4回の委員会と2回のワークショップ、田平まちフェスを、子ども育成部会員として参加

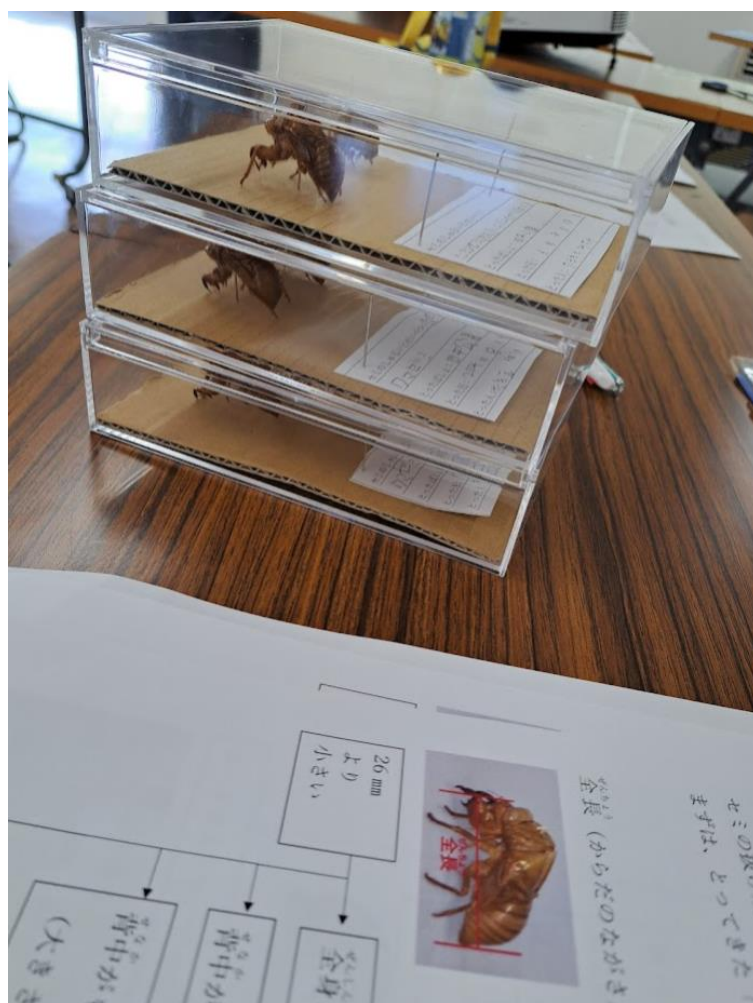
田平まちづくり協議会の事業の見直し、新たな魅力発掘が目的



田平町の魅力の再発見や事業の見直しについて意見



自然体験講座の企画・実施：8月・12月（2回）・2月



令和6年8月
セミの抜け殻大調査



令和6年12月
落ち葉でクリスマス
オーナメントづくり

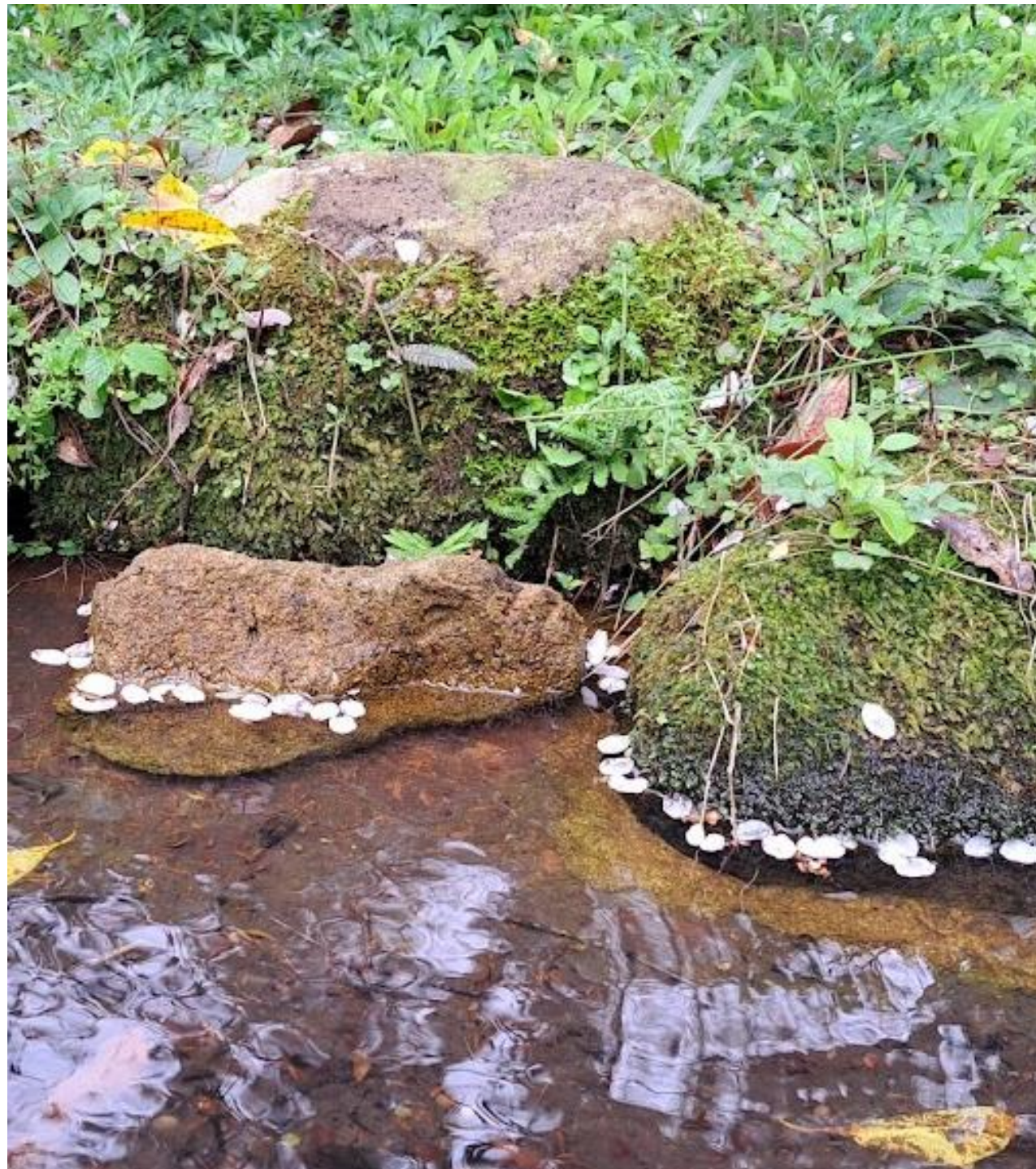
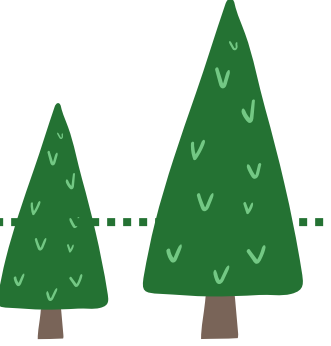


令和6年12月
昆虫ビンゴ



令和7年2月、
3月（予定）
昆虫模型づくり

目次



01

平戸に移住するまで

02

2年目の活動報告

03

今後について

終わりに



ご清聴ありがとうございました